

2012年度(平成24年度) 事業報告

2012年4月1日～2013年3月31日

ウッドマイルズ研究会

1. 事業の実施概要および成果

I. 関連指標及びツールの開発事業

関連指標算出マニュアルは、Ver.2008-04 を運用中。以降の追加修正は行っていない。

II. 普及及びネットワークの形成事業

毎年恒例のウッドマイルズフォーラム 2012 (7月:東京) は、森林林業再生プランや国産材需要拡大施策が叫ばれる中で、今一度、日本の森林・林業の現状を見つめ直すことをテーマとして開催した。また、毎年京都で開催しているウッドマイルズセミナーは、京都府主催の「森林・林業京都会議」(3月:京都) における「木材利用拡大大会」に、ウッドマイルズ研究会関係者の講師を派遣し、共同主催という形で開催した。

ウッドマイルズ関連指標算出技術者を養成する算出講習会は、希望に応じて大阪で1回開催した。

III. 情報収集研究事業

森林総合研究所との共同研究「森林及び林業分野における温暖化緩和技術の開発－伐採木材製品の炭素貯蔵シミュレーションモデルの開発」を行い、平成24年度は「森林・林業再生プラン」により試算されている2020年の製材・合板・チップの需要量に対して、品目別の現状の輸送距離帯や輸送手段を考慮した、モーダルシフトによる輸送エネルギーの削減量を推計した。

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者数	受益対象者	支出額(千円)
関連指標及びツールの開発	マニュアル・プログラムの維持管理	4/1～3/31	事務局	1人	会員多数	0
普及及びネットワークの形成	ウッドマイルズフォーラム 2012 開催	7/21	木材会館(東京、新木場)	12人	参加者 57名	583
	森林・林業京都会議「木材利用拡大大会」(共同主催)	3/5	ルビノ京都堀川	4人	参加者約 50名	2
	算出講習会(合計1回)	3/6	大阪	1人	認定取得者 8名	40
	ホームページ更新管理 ニュースレター配信	4/1～3/31	事務局	1人	会員他多数	0
情報収集研究	伐採木材製品の炭素貯蔵シミュレーションモデルの開発	4/1～3/7	事務局他	2人	関係者多数	1,634

<各事業の概要>

ウッドマイルズ研究会 2012 年度総会



日時／2012年7月21日（土）10：15～11：45

場所／木材会館 6階第1・第2会議室

（審議事項）

- 1) 2011年度事業報告及び収支決算について
- 2) 2012年度事業計画及び収支予算について
- 3) 役員を選任について 4) その他

正会員 15 名および表決委任者 80 名による総会は、藤原議長のもと全ての審議事項が承認された。

ウッドマイルズフォーラム 2012 ～日本の森林の今を学ぶ



日時／2012年7月21日（土）13：00～16：45

場所／木材会館 7階ホール

主催／ウッドマイルズ研究会

〔第1部：3つの報告事例から、森林の今を見つめる〕

金原明善の思想を現在に 金原治山治水財団の方針（金原利幸氏）、副業型自伐林業のススメ 全国に広がる土佐の森方式、自伐林業方式（中嶋健造氏）、トライ・ウッドの役割 地域材ブランド「津江杉」の確立（木川研史氏）

〔第2部：ディスカッション～第1部報告を踏まえて、森林の今を考える〕

第一部報告者＋箕輪光博氏、熊崎実氏、藤本昌也氏、藤原敬氏、小坂善太郎氏、三澤文子氏

各々の立場で森林経営や木材生産を行っている3つの活動報告、および林野庁関係者とウッドマイルズ研究会関係者を交えたディスカッションを行い、日本の森林・林業の現状や課題、今後の役割や可能性などについて議論した。森林・木材・建築関係者、学生、その他、57名が参加した。

森林・林業京都会議～「木材利用拡大大会」



日時／2013年3月5日（火）10：30～17：00

場所／ルビノ京都堀川

主催／京都府、京都府林業振興会、京都府森林組合連合会、京都府木材組合連合会、京都モデルフレット協会、京都府林業普及協会、京都府林業労働支援センター、京都府地球温暖化対策等推進基金事業地域協議会、京都府林業士会、京都府林業グループ連絡協議会、京都府産木材認証制度運営協議会、ウッドマイルズ研究会、京都府林業の担い手交流・育成協議会

〔第1部:全体会議〕

知事挨拶ほか、表彰状授与式では、緑の工務店等の府内産木材利用の功労として、ウッドマイレージ推進に寄与した設計事務所や工務店の表彰も行われた。

〔第2部:分野別会議〕

「森林・林業活性化大会」、「モデルフォレスト運動推進大会」、「木材利用拡大大会」の3つの分科会が開催され、木材利用拡大大会に、講演及びパネラーとして、藤原敬氏、三澤文子氏が参加し、京都府産木材の利用拡大に関するディスカッションが行われた。

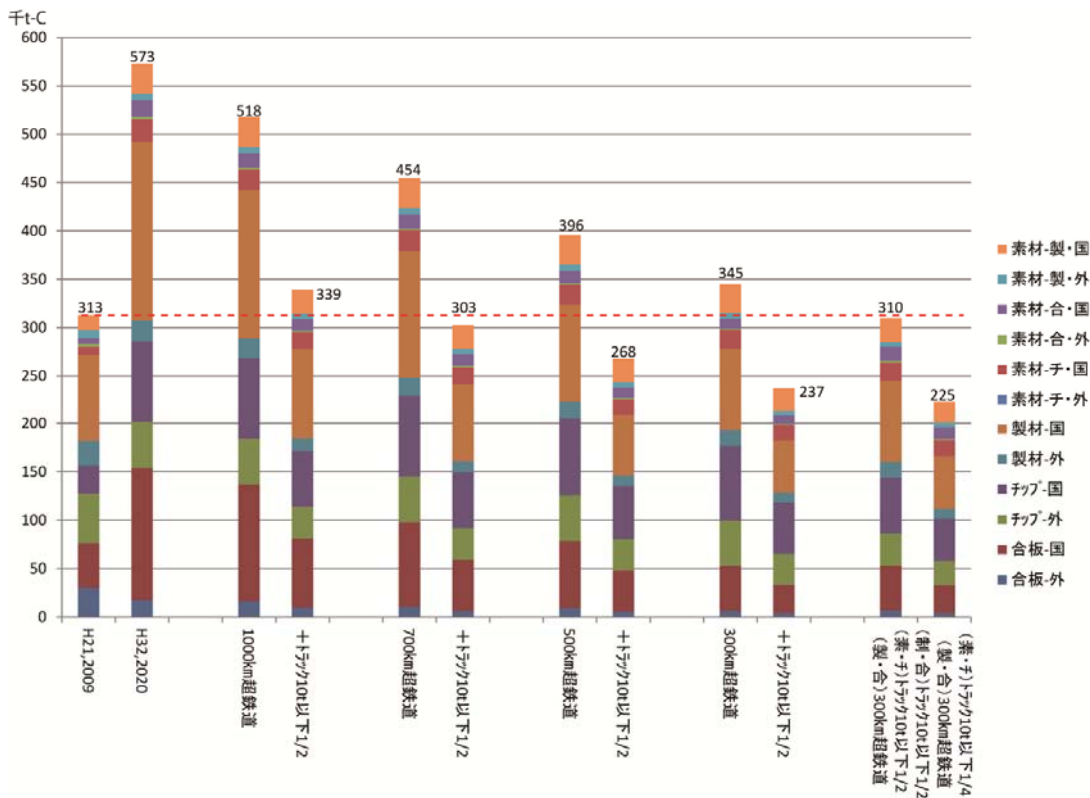
ウッドマイルズ算出講習会

実施日	場所	受講者数	備考
3/6	MOK ソーホー (大阪)	8名	認定8名

伐採木材製品の炭素貯蔵シミュレーションモデルの開発 (輸送エネルギーの解析担当)

「森林・林業再生プラン」により試算されている2020年の製材・合板・チップの需要量に対して、品目別の現状の輸送距離帯や輸送手段を考慮した、モーダルシフトによる輸送エネルギーの削減量を推計した。

「森林・林業再生プラン」により試算されている2020年の製材・合板・チップの需要量に対して、700km超の長距離輸送を鉄道輸送へシフトし、かつその他のトラック輸送の10t以下の割合を半減することにより、現状(2009年)の炭素排出量と同等以下に出来ることが分かった。また、品目別の現状の輸送距離帯や輸送手段を考慮し、ほぼ近距離輸送であると推測される素材、チップのトラック輸送の10t以下の割合を半減し、近～遠距離まで幅広く輸送されていると推計される製材、合板の300km超の中・長距離輸送を鉄道輸送へシフトすることで、現状の炭素排出量と同等以下に出来ることも分かった。



(図1 モーダルシフトによる輸送課程炭素排出量の変化)

2. 研究会の組織

(2013/3/31 現在)

正会員個人が6名減少した。会費未納者も多い状況である。

種 別	2011 (H23) 年度末	2012 (H24) 年度末	備 考
顧問	18名	18名	
技術委員	4名	3名	1名 減 (退職のため)
正会員個人	137名	131名 (※62名)	6名 減
正会員法人	47社	47社 (※21社)	
賛助会員個人	23名	23名 (※13名)	
賛助会員法人	0社	0社	
認定算出技術者	149名	144名	5名 減
ニュースレター配信	476名	480名	4名 増

(※会費未納者数)

2012年度（平成24年度）事業会計収支決算書

2012年4月1日から2013年3月31日

ウッドマイルズ研究会

科目・摘要	金額		
I 収入の部			
1 会費・入会金収入			
(1) 年会費			
・正会員個人 5,000円×69名=345,000	345,000		
・正会員法人 30,000円×26社=780,000	780,000		
・賛助会員個人 3,000円×10名=30,000	30,000		
・賛助会員法人 30,000×0=0	0		
		1,155,000	
2 事業収入			
(1) 関連指標及びツールの開発事業			
1) 建築物ウッドマイルズ関連指標算出マニュアル・プログラムの維持管理	0		
(2) 普及及びネットワークの形成事業			
1) フォーラム、セミナー開催			
・ウッドマイルズフォーラム2012（東京）	134,000		
・ウッドマイルズセミナー2012（京都）	0		
・算出講習会（大阪）	40,000		
2) 情報発信			
・ホームページ情報更新、ニュースレター配信	0		
・ウッドマイルズ関連指標算出及びレポート編集発行	0		
(3) 情報収集研究事業			
・伐採木材製品の炭素貯蔵シミュレーションモデルの開発（森林総合研究所共同研究）	1,700,000		
		1,874,000	
3 その他			
(1) 利息・雑収入	61		
		61	
当期収入合計（A）		3,029,061	
前期繰越収支差額		4,157	
収入合計（B）			3,033,218
II 支出の部			
1 事業費			
(1) 関連指標及びツールの開発事業			
1) 建築物ウッドマイルズ関連指標算出マニュアル・プログラムの維持管理	0		
(2) 普及及びネットワークの形成事業			
1) フォーラム、セミナー開催			
・ウッドマイルズフォーラム2012（東京）	583,078		
・ウッドマイルズセミナー2012（京都）	1,995		
・算出講習会（大阪）	40,000		
2) 情報発信			
・ホームページ情報更新、ニュースレター配信	0		
・ウッドマイルズ関連指標算出及びレポート編集発行	0		
(3) 情報収集研究事業			
・伐採木材製品の炭素貯蔵シミュレーションモデルの開発（森林総合研究所共同研究）	1,634,000		
		2,259,073	
2 管理費			
(1) 事務局委託費（※研究会10年間の歩み原稿作成費含む）	708,000		
(2) 借損料（総会会場費はフォーラムに計上）	0		
(3) 旅費・交通費	0		
(4) 通信費	23,310		
(5) 支払手数料	13,645		
(6) 消耗品費	0		
(7) 租税公課	0		
(8) 雑費（8/6運営委員会開催費）	28,990		
		773,945	
当期支出合計（C）			3,033,018
当期収支差額（A）－（C）			▲ 3,957
次期繰越収支差額（B）－（C）			200

2012年度（平成24年度）事業会計貸借対照表

2013年3月31日現在

ウッドマイルズ研究会

科目・摘要	金額		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金	181		
預金	19		
売掛金	0		
前払費用	0		
流動資産合計		200	
2 固定資産			
固定資産合計	0	0	
資産合計			200
II 負債の部			
1 流動負債			
短期借入金	0		
未払金	0		
前受金	0		
預り金	0		
流動負債合計		0	
2 固定負債			
固定負債合計	0	0	
負債合計			0
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		4,157	
当期正味財産増加額		▲ 3,957	
正味財産合計			200
負債及び正味財産合計			200

2012年度（平成24年度）事業会計財産目録

2013年3月31日現在

ウッドマイルズ研究会

科目・摘要		金額	
I 資産の部			
1 流動資産			
現金			
現金手許高	181		
預金			
十六銀行美濃支店	0		
三井住友銀行新百合ヶ丘支店	19		
郵便局	0		
売掛金	0		
前払金	0		
流動資産合計		200	
2 固定資産			
固定資産合計		0	
資産合計			200
II 負債の部			
1 流動負債			
短期借入金	0		
未払金	0		
前受金	0		
預り金	0		
流動負債合計		0	
2 固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			0
正味財産			200

2012 年度 収支決算 監査報告書

ウッドマイルズ研究会の 2012 年度の収支決算について、会計担当ならびに事務局長の立会いのもとに監査を行いましたので、次のとおり報告します。

1. 監査方法の概要


会計監査のため、帳簿および領収書綴り、各事業計画書・収支予算書および各事業報告書・収支決算書ならびに預金通帳等をそれぞれ照合し、必要に応じて会計担当ならびに事務局長に説明を求めて調査しました。

2. 監査の結果

会計帳簿の記載は正確で、関係書類ならびに会計処理はすべて適正であり、2012 年度収支決算書に相違がないことを認めます。

平成 25 年 6 月 1 日

ウッドマイルズ研究会

監事 豊田 保之 

監事 山村 いづみ 